

東京古書会館 100年記念

2015
古書月間
イベント

東京古書組合 所蔵資料展

入場無料

東京の古本屋

<http://www.kosho.ne.jp/>

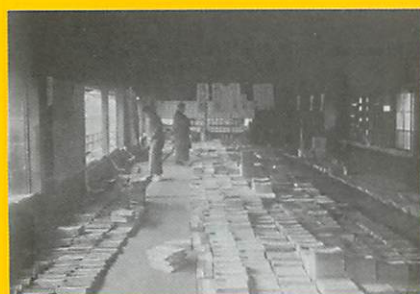
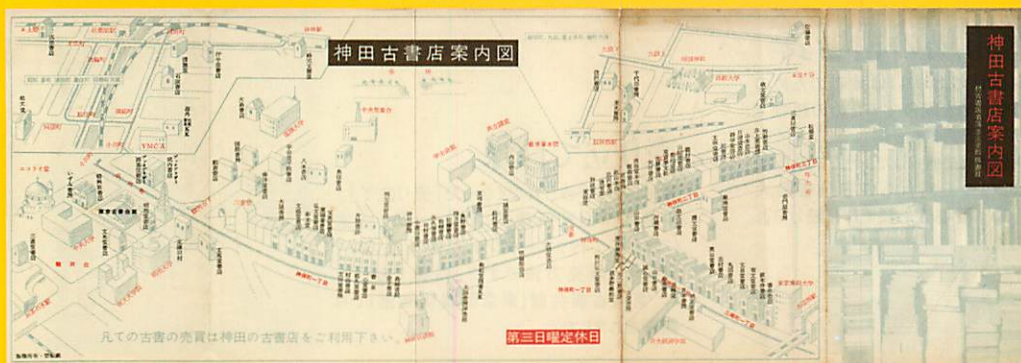
2015年

開館時間

10月15日(木)～21日(水) 11:00～18:00

東京古書会館 2階 情報コーナー

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-22 TEL: 03-3293-0161



東京都古書籍商業協同組合

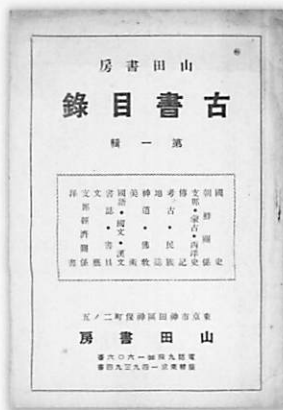
日本の
古本屋

東京古書組合所蔵資料展

神田古書店街に、東京古書会館の前身である東京図書倶楽部がオープンして来年2016年で100年となります。これを記念して、ささやかではありますが、東京古書組合が所蔵している戦前から戦後にかけての古書目録や古書市場の相場表など様々な資料を展示いたします。

この100年、関東大震災と東京空襲による焼失、さらに高度成長期の業界規模拡大に対応するための建て替えと、東京の他の多くの建物と似た道筋をたどってきた東京古書会館。ここには、古書目録・古書即売展の目録やチラシ、戦時中の価格統制表など様々な資料が保管されています。

その多くは、貴重な資料を後世に残そうと、長年にわたり組合加盟古書店から寄贈されたものです。一つひとつの資料は、変哲もない古本屋の日常業務の断片にすぎませんが、並べてみることで、何か見えてくるものもあるかもしれません。



古書目録

明治期からあった古書の通信販売。古書店の重要な販売手段のひとつとなるのは関東大震災以後といわれます。ここでは戦前の目録を中心に、東京のみならず日本各地の目録を展示します。

古書即売展目録

「古本まつり」などの名称でおなじみの古書即売展。こちらも明治に始まりますが、関東大震災後「モダン東京」の時代に戦前の最盛期を迎えます。その頃の目録を中心に展示します。



公定価格関係

昭和13年「国家総動員法」制定。その影響は古本屋にも。物価統制は古書にも及び、当局から公定価格制を求められます。多くの古書店主が集まり、苦勞して作り上げた古書の「公定価格表」を展示します。



古書市場の相場表

古書会館は基本的には業者のための古書の競り市を開催するための建物です。100年間、ほぼ途切れることなく市場が開催されてきました。そこでの取引相場は、いつの時代も古書業者最大の関心事。相場表も長く作り続けられました。

売り立て目録

今ではあまりみられなくなった「売り立て」。資産家や旧家所蔵のコレクションを一堂に陳列して行うオークション。美術品によく見られる販売方法ですが、古書でも行われ、東京古書会館(東京図書倶楽部)でも開催されました。



東京都古書籍商業協同組合

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-22
TEL: 03-3293-0161 FAX: 03-3291-5353
e-mail: info@kosho.ne.jp
<http://www.kosho.ne.jp/>



JR 中央線・総武線 御茶ノ水駅
お茶の水橋口 徒歩5分
東京メトロ 千代田線
新御茶ノ水駅 B3番出口 徒歩5分
東京メトロ 半蔵門線
神保町駅 A5番出口 徒歩5分
都営地下鉄 新宿線・三田線
神保町駅 A5番出口 徒歩5分
※会場には駐車場がございません。
地下鉄・JRをご利用ください。